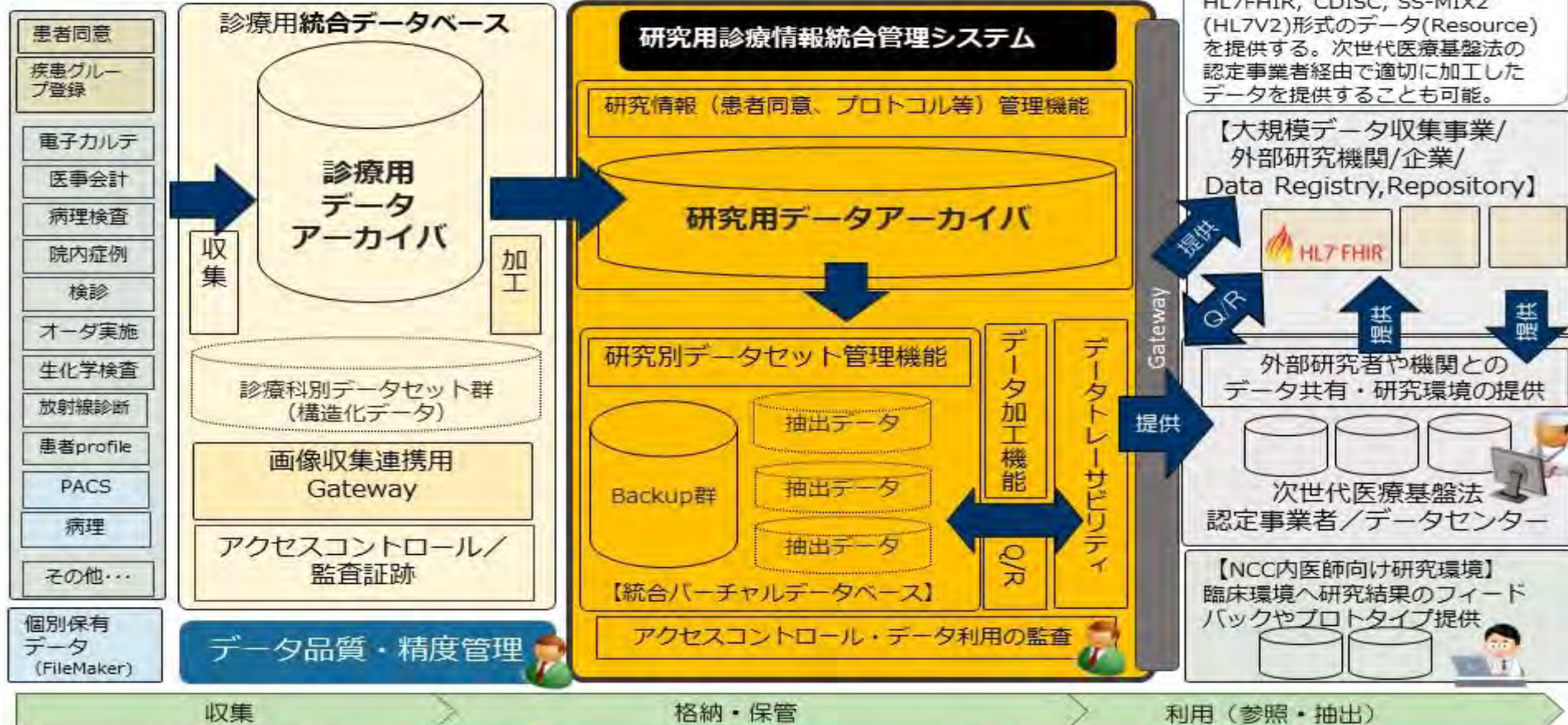


○施策全体の目標 ……本施策では本邦初のデジタル医療データバンクを構築し、AI駆動型の次世代診療ワークフローの実現、医療DX人材の育成、産学連携に基づく創薬や医療機器開発へ応用するとともに、質の高い学術研究を行うことを目標とする。特に次世代医療基盤法下における匿名加工医療情報に該当する医用画像が未だ存在しない状況を鑑み、厚生労働省・政策科学総合研究事業とも連携しながら、匿名加工・仮名加工における技術的な方法論も確立させながら推進する。本施策の成果は事業化することを想定しており、施策終了後はSIP第3期課題「統合型ヘルスケアシステムの構築」への導出を予定している。

テーマ等（※個別に目標を設定している場合）	当年度目標	目標の達成状況（年度末報告）
①デジタル医療データバンクの構築	<p><u>R5年度</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術開発の進捗：医療AI研究開発を志向した医療データプラットフォームの構築と実装（TRL6へ）</li> <li>・イノベーション化の進捗：デジタル医療データバンクの創薬・医療機器開発への応用[1件以上のPOCの取得]（BRL6へ）</li> <li>・人材育成の進捗：レジデント、大学院生及び博士研究員など若手人材の参加を必須とし育成する（5名以上）[若手人材はテーマ①及び②双方に参加]（HRL4へ）</li> </ul>	(-)
②AI駆動型の次世代診療ワークフローの実現に向けた取り組み	<p><u>R5年度</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術開発の進捗：診断または治療をサポートするAIの開発（TRL6へ）</li> <li>・イノベーション化の進捗：開発した医療AIの社会実装を目指した取り組み[薬事承認を目指したPMDAとの面談・実証実験の推進など（1件以上）]（BRL6へ）</li> <li>・人材育成の進捗：レジデント、大学院生及び博士研究員など若手人材の参加を必須とし育成する（5名以上）[若手人材はテーマ①及び②双方に参加]（HRL4へ）</li> </ul>	(-)

## 研究用診療情報統合管理システム概要 (GOAL)



データ提供先の要件に応じて、HL7FHIR, CDISC, SS-MIX2 (HL7V2)形式のデータ(Resource)を提供する。次世代医療基盤法の認定事業者経由で適切に加工したデータを提供することも可能。

【大規模データ収集事業/外部研究機関/企業/Data Registry,Repository】



外部研究者や機関とのデータ共有・研究環境の提供

次世代医療基盤法認定事業者/データセンター

【NCC内医師向け研究環境】臨床環境へ研究結果のフィードバックやプロトタイプ提供

統合データベースに登録されたデータは共有され、必要な場面で引用、確認、検索、抽出、データ加工の上提供可能となる

中央病院内に存在する様々なシステムを情報の発生源とし、テキスト、画像データを収集し管理する。診療科ごとに維持しているFileMakerデータと同等の構造化データ入力・管理機能を提供する。研究に必要な患者の同意や研究対象症例の登録機能を備える。

センター全体の研究を実施するための診療情報を統合的に管理する仕組みを維持するためのシステム。データ格納・保管機能の他に、研究テーマごとの厳密なアクセスコントロール、抽出したデータのトレーサビリティ、監査機能やデータ加工機能を保有する。

データ利用者に応じたデータ抽出、共有環境の他に、多施設共同研究や計算センターへのデータ転送などを視野に入れたデータ管理機能を実現する。患者を想定したデータ利用状況監査機能を提供する。